

まつうら 市議会だより

第42号

平成29年2月1日

編集・発行

広報特別委員会

電話(0956)72-0264

第4回
定例会



ながい
旧、長醫家住宅主屋（国有形文化財登録候補 星鹿町）



平成28年度松浦魚市場特別会計補正予算約9億3千500万円を可決

公設松浦魚市場施設の老朽化等に伴い再整備が順次進められ、水産業の拠点施設として高度衛生管理型の輸出にも対応できる市場整備を目指します。

今回の補正予算において各種測量設計委託料、仕向け作業場新築工事費、魚体選別機購入費など約9億3千300万円が計上されました。



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

平成28年 第4回定例会

平成28年第4回定例会を、12月9日(金)から12月21日(水)までの13日間で開催しました。

今回の定例会では、松浦市税条例等の一部改正など条例12件、平成28年度各会計補正予算16件、その他の議案3件の合計31議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。また、継続審査としていた平成27年度の松浦市一般会計決算認定及び各特別会計の決算認定12件を認定いたしました。

最終日には同意案2件が上程され、いずれも了承するとともに議員提出議案(意見書案)を可決いたしました。また、議員定数及び委員会構成等を検討するための市議会議員定数等特別委員会を設置いたしました。

会期日程

12月
9日(金)

本会議

▽会期の決定
▽議長報告
▽市長の市政概況報告
▽常任委員会の行政調査報告

▽決算審査特別委員会の審査・報告・採決

▽特別委員会の中継報告
▽議案の上程・説明・質疑・主管委員会付託

10日(土)
11日(日)

休会

12日(月)

▽一般質問
▽議会運営委員会

13日(火)

本会議

14日(水)

▽一般質問
▽議案の追加上程・説明・質疑・主管委員会付託

本会議

15日(木)
16日(金)
17日(土)
18日(日)

委員会議
休会
休会
休会

19日(月)
20日(火)
21日(水)

委員会議
休会
休会

▽委員長報告・採決
▽議案の追加上程・説明・質疑・審議
▽議員提出議案の上程・説明・質疑・審議
▽特別委員会の設置

本会議

議会の傍聴に

おでかけください。



次の定例市議会は

3月です。

議会はインターネット中継でもご覧いただけます。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコンで視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス

<http://www.city-matsuura.jp>

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL(0956)72-0264

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内(答弁と関連質問を含む)という取り決めになっています。

12月12日から14日の3日間で12人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。(登壇順)

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館

一般質問



安江
議員

○鷹島モンゴル村について

質 急な指定管理撤退は結果として、休村することとなりお詫び申し上げます、で済ませてはいけません。なぜこういう結果になったのか、原因がどこにあるのかを市民に明らかにするべきです。この点を抜きにして今後の検討を行うのは無理があると考えます。これまでの事業経費について伺います。

商工観光課長 平成5年開設当時からの経費は、設備と周辺施設の整備が約25億5千万円、委託料及び指定管理料に約9億6千万円、借地料に約4千400万円の合計約35億5千万円となります。

質 これまでの事業について、どのように総括されておりますか。

商工観光課長 鷹島肥前大橋架橋の大きな要因となったほか観光客への地元食材による飲食の提供やお土産品の販売、地元雇用への効果があったと評価しています。

質 撤退となった経過と原因をどう考えておられますか。

商工観光課長 集客率低迷が経営状況悪化の要因と思われます。来場につながる魅力が不足していたと考えられます。

質 集客数が計画値の4割で経過していた点について、この原因を協定書に基づいて指定管理者は改善計画を出されていたのか。

商工観光課長 改善計画等については、期間が短かったこともあり提出には至っておりませんが、この間、協議をして誘客を図る対策は行っておりしました。

質 基本協定には損害賠償等の規定があるが、どのように考えているか。

商工観光課長 施設自体は市の所有であるため現時点では損害はないと考えます。

質 運営がうまくいかなかった場合の責任が協定に明示されてなかったことについて、見解はどうか。

商工観光課長 指定管理期間の途中で業務を終了することは想定しておらず、非常に残念な結果となりました。今回の経過を十分に踏まえて今後の対策に生かしたいと思っております。

○福岡つばき荘問題について

質 福岡高裁の判決により、市は賠償金の支払いを行い、市長は自ら減俸を行ったが、敗訴した大きな原因である職員の不正確かつ誤った説明をした点についてのコメントがない不問に付されているが、見解を伺いたい。

市長 裁判は結審しており、判決の結果について真摯に受けとめております。再発防止策を定めて、現在、適正な事務執行に努めております。

一般質問



嶋田
議員

○伊万里松浦病院の移転について

質 伊万里松浦病院移転の話が出て以降、松浦市へぜひ移転してほしいと多くの市民皆さまの署名活動や要望書の提出があったところですが、理事者側としても上京され、独立行政法人地域医療機能推進機構東京本部を訪問されている。先方とお話しされた結果がどうであったのか報告頂きたい。

副市長 私と担当課長で訪問し、移転の基本的な考えが変わっていないかどうか、進展が見られない理由をお尋ねしました。結果として移転の意向は変わっていないことが確認できたとともに、本市を含む県北地域の病床数が過剰地域であるため県による特例病床の許可を得なければ次の段階へ進めず、検討をしている状況とのことでした。

質 核となる病院を本市に誘致するということは、20年後、30年後のしっかりとした医療体制の確立につながると思う。移転誘致に対する市長の考えを伺う。

市長 今後の松浦市における地域医療の実状を考えれば、ぜひとも実現しなければならぬと思っています。これまでも不転移の決意で取り組む

ことを申し上げており、その考えに変わりはありません。

○今福定住促進住宅について

質 今福定住促進住宅に関しては、松浦木造の家プロジェクトにより、大工など市内の業者に発注し、市内で調達可能なものは市内で調達するとしてありましたが、その状況についてお尋ねします。

都市計画課長 なるだけオール松浦でやろうをコンセプトに事業を進めています。状況としては、建築工事の元請は全て市内業者であり、大工、塗装などの工事は概ね100パーセント市内業者となっています。建築工事一棟当たりの資材等の市内受注率も約8割となっています。

質 現在までの出来上りの状況、28年度完成時の状況、入居状況について伺います。

都市計画課長 平成25年度に設計に着手し、26年度予算で住戸8戸、27年度予算で13戸を建設し、本年度は10戸が建設中です。29年度に2戸を建設すれば計画33戸全てが完了します。現在の入居率は100パーセントで、21世帯、62名が入居されております。

その他今福地域スポーツ施設整備と消防団員の確保対策について質問しました。

一般質問

川下
議員

○教育支援員の人材確保について

質 教育支援員とは、児童生徒に対して食事、排泄、教室移動の補助といった学校における日常生活の介助や安全確保など学習活動上のサポートを行う者であり、本市もその重要性を認識して、必要な人数分の予算計上を行っている。しかし、現状は始業式までに人数を揃えることができていない。その原因としては、募集開始時期が遅いことや同時期に募集される職種と比較して賃金や勤務時間など雇用条件が悪いことなどが挙げられます。保護者が安心してお子さんを預けられ、児童生徒が安心して教育を受けられるためには、教育支援員の人材確保としては、募集時期と雇用条件の改善を求めたいと思う。どう考えるかお聞きしたい。

学校教育課長 募集時期の改善策としては、教育支援員の登録制の実施を考えています。これにより年度途中での欠員補充にも対応ができるようになると考えます。また、募集の周知広報については、各家庭への回覧文書のほかに、市報や市のホームページ、NBCデータ放送の活用を検討しています。

市長 雇用条件については、財源として人材育成の観点からふるさと納税の寄附金を活用できないか検討を行っており、その職務にふさわしい賃金となるよう努めてまいります。

○伊万里松浦病院の移設について

質 移設については、市民の皆様が期待が大きい一方、当病院では内科と外科のどちらか一人の医師が夜勤勤務をしている現状です。このままでは市民の期待感と現実乖離があるのではないかと懸念されます。今後、医師の確保を含めた詰めの話し合いが重要と思われます。市民の声に応えられる医療機関であり得るのか確認したい。

市長 松浦市には核となる公的医療機関がなく、市民の皆様が地域医療に対して不安を持っておられることは承知しております。伊万里松浦病院にはこの不安解消に寄与して頂きたいと願っています。

病院開設には、松浦市が過剰病床地域であるため、県の特例措置の適用が絶対条件となっております。地元医師会の皆様方にもご理解を頂けるよう、松浦市地域医療再編実施計画の早期策定に向けて全力で取り組んでまいります。

その他情報インフラ整備についてと鷹島モンゴル村の休村について質問しました。

一般質問

尾野
議員

○市内小中学校トイレの実態と洋式化を含む改良の取り組みについて

質 現在、市内小中学校の児童生徒数は何人か。学校の便器の数は幾らあるか。そのうち洋式トイレの割合はどのくらいか。

教育総務課長 本年11月現在1千836名が在籍し、総便器数431基のうち洋式が152基あり、その割合は35・3パーセントとなっております。

質 車いすに対応した多目的トイレは幾らあるか。

教育総務課長 現在、小学校5校と中学校5校に計22か所を設置しています。

質 家庭では洋式トイレが主流となつていく中で、和式は使いづらいなどの声はないか。また、PTAや学校訪問者からの要望等はあるか。

教育総務課長 児童生徒からは、洋式の方が使いやすい、和式だと汚れてしまう、和式は怖いなどの声があります。また、教職員、PTAや来校者等からも洋式を増やしてほしいとの声がありますし、その一方で、和式がなくなってしまうと使い方を教えられなくなってしまうとの意見もあります。

質 特に思春期の児童生徒をはじめ和式便器への抵抗感があることや、学校は大規模災害時の避難場所として大きな役割を持つており、お年寄りのことを考慮すれば洋式への改善は必要不可欠と思う。まずは子どもたちが快適に学校生活を送ってもらうためにも、ぜひ洋式化が必要だと考える。今後の取り組みについて教育長、市長の考えを伺います。

教育長 ご指摘のようにトイレの洋式化は必要なことだと考えております。洋式便器率の向上に計画的に取り組んでまいります。

市長 学校施設の改築や改修でトイレを設置する場合は、トイレ1か所につき和式を1基のみとし他は洋式への整備を進め、洋式化率を6割から7割程度まで引き上げていきたい。

○交通安全対策と災害対策について

質 西肥バスの上野入口バス停は、地区からの要請もあり何度も見ましたが、非常に危険な状態です。バス停が登坂車線内にあり、バス停車帯も歩道もない。行政として、バス利用者に安全で安心して利用できる対策を考えてもらいたいと思う。

市長 地区住民、交通事業者、警察署等の意見を頂きながら道路管理者の県へも話をつないで、安全が確保できる方策を見出し、実行して頂くような対応をとっていききたい。

一般質問

立 鈴
議員

○生活民具類の収集保存について

質 民族資料館等が建設されることとなったときに、展示する民具が朽ち果て、また、散在して陳列するものがない現実直面するのではないかと危惧される。先代の人たちが家族を養うために一所懸命農耕に精を出し、収穫して家庭を潤し、五穀豊穡の祭をして感謝する、そういう生活の証としての民具がなくなってしまうのは教育的にも非常に損失だと思う。先代が使ってきた農具や漁具など、実物を見て、学習して、それを脳裏に刻むことで一層郷土愛が芽生えてくるのではないかと思う。一刻も早く収集をすることが非常に大事ではないか。どう対策を講じようとしているのか考えを伺いたい。

文化財課長

人々の生活の様子がどのようにに移り変わってきたのかを学習する上での生活民具、民族資料等の重要性は認識しております。市では、効果的に資料の収集、保存、展示公開を行うために歴史と民族に係る史料・資料収集ガイドラインを定め、これに基づき収集を行っております。このガイドラインは、市のホー

ムページでも公開しています。市民皆様からの情報の提供は大切なことと思っており、引き続き関係団体と連携を図り、情報の収集に努めてまいります。

○志佐川の水域の環境改善について

質 現在、人間というものは機械に追われ、人間関係に心身を消耗し、うつ病や精神的な疲労で仕事を休む方々も多くなっている。そういう人の心の癒しには河川敷の散策は効果的です。自然の中で心を癒すことは大事なことだと思う。昔はウナギ、ドンコ、カニ、フナがおりましたが、今はブロックで覆われています。川に生息する生き物たちに優しい川を目指した環境づくりをして頂きたい。

上下水道課長 志佐川の環境調査に関しては、26年度まで5年間実施し、その一環として工業用水の取水堰に魚道を設置しアユの遡上調査を行いました。遡上時期は4月上旬がピークであるとの結果も得ています。今後の対応としては、志佐川内水面協議会とも協議を行い、段差のある堰の改良工事や頭首工の整備など生物に配慮した環境整備の事業展開を進めていきたいと考えます。稚アユの放流についても、その数を増やすなど、その生息を助けていきたいと思っています。

一般質問

枝 久
議員

○給食費無料化について

質 小中学校給食費補助事業を平成24年度から実施し、25年度には1千158万9千円を支出している。小学生と中学生の保護者の年間負担額は幾らとなっているか。

教育総務課長

一人当たりの給食費は、小学生が年額約4万7千円、中学生が年額約5万6千円となります。

質 給食センターの経費は年間幾らかかっているか。

教育総務課長

給食センターの経費は学校給食法に規定されており、27年度決算で市内3調理場あわせて1億8千160万円となります。

質 給食センター建設の年間リース料7千940万円の支払いが今年で終わる。この相当額を給食の経費に充てれば全生徒の給食費を無料にできるのではないかと考える。新年度から無料にはできないか。

市長

生徒の保護者を対象に給食費助成制度に関するアンケート調査を行ったところ、現在の補助制度を継続してほしいという回答がある一方、エアコン設置やコンピューター整備といった教育環境の充実や学力向上

に資する施策に予算を配分してほしいという回答もあります。このことから、学校教育費としては、給食費助成制度は現状を維持しつつ新たな施策等の実施に予算化を図りたいと考えます。

○鷹島モンゴル村に再生可能エネルギー基地について

質 国は2020年度から国策として水素自動車の普及が進められると聞く。水素エネルギーは人類究極のエネルギーといわれ、既に九州大学も本格的に研究し、糸島キャンパスは研究拠点になっているそうだ。新産業分野であるため、産業振興につながり、本市の地域振興にも寄与するのは間違いのない。水素は無害で、様々な施設等の電源ともなる。鷹島地区の振興を図るために、鷹島ダムを利用した水素製造会社の誘致や公募による企業誘致に取り組んだらどうか。まず、そういう研究機関をつくつたらどうか。

市長

本市はエネルギーのまちということを標榜しており、市の将来の在り方や電源地域としてどのようにするかということについては検討を始めたところです。議員からも水素という新たなご提案を頂きましたし、新たな産業分野になるうと思われまます。まずは、このことについて研究していきたいと思っています。

一般質問



山岡 議員

○鷹島モンゴル村に対する基本的な考え方について

質 鷹島モンゴル村が休村になり、町内外の皆さんはいつ開村するのかと大変心配されている。鷹島モンゴル村に対する基本的な考え方について説明を求めます。

市長 これまでは鷹島モンゴル村を松浦市の観光の核として、交流人口の拡大と集客に取り組んできました。今後は、これから取り組む全国公募の動向を見きわめ、基本的な考えを固めたいと思っています。

質 鷹島モンゴル村は、松浦市にとって観光の核となる施設であり、市長も常々鷹島モンゴル村を観光施設の核にしたいと申されており、観光地にはぜひとも温泉が必要で、温泉施設だけでも早急にオープンしてほしいと思っているが、市長の考えを伺いたい。

市長 鷹島モンゴル村の一体的活用を公募することとしており、その動向を見守りたい。今の段階では温泉だけをオープンするという考えは持っておりません。

質 今回鷹島バイオパーク株式会社が1年足らずで撤退しましたが、その原因についてお尋ねします。

また、休村して1か月以上経過しましたが、市としてこれまでどのような対策を執っていましたか。

商工観光課長 撤退は、来場者数、収入ともに当初計画を大きく下回り、計画の約4割だったというのが大きな要因だと考えております。お客様に足を運んで頂けるだけの施設の魅力が不足していたと思われま。

対策としては、休村前の9月13日に鷹島モンゴル村対策本部を設置し、関係機関とも協議、連携して対応してまいりました。休村後の現在は公募に向けて準備を進めております。
質 全国公募に向けての状況はどのようなになっていますか。

鷹島町内には介護施設があり、鷹島モンゴル村の研修センターを改造して介護施設として活用できないかと思っているが、考えを伺いたい。

商工観光課長 対策本部において公募の準備を進めており、12月中には公募を開始することとしています。

副市長 全国的公募をしようとしており、議員と同じような提案があれば当然審査の対象となります。しかし公募前のこの場で特定の業種や施設を申し上げると全国公募の公平性及び公正性が損なわれます。具体的な言及は避けさせて頂きます。

一般質問



宮本 議員

○当市が毎年、県及び国に提出する要望書の成果について

質 私は、10月下旬に会派議員とともに政務調査のため上京し、国会議員や各省庁関係者と面会して本市の政治課題等について協議してまいりました。衆議院議員の前文部科学大臣馳浩氏と鷹島の水中考古学について面談した際には、松浦市は要望実現に向けた政治的迫力がないとのアドバイスを受けました。本市は毎年、県や国に対して要望書を提出しておりますが、その実現のためには、年に一度は市長を先頭に議長、議員全員で大陳情団を編成し、迫力ある行動を起こす必要があると考えます。成果を上げなければ市民に対し無責任であると思います。いかがですか。

市長 市政の課題、政策の推進ということについては、これまでもその成果を上げるために議会や関係団体と一緒にやって行動をしているところであり、要望項目に応じて県、国会議員、関係省庁を訪問し陳情要望活動を行っております。議員ご指摘の活動方法に関しては、効果的な陳情要望活動をどうすればよいか、

引き続き議会とよく相談させて頂きます。

○玄海原子力発電所の再稼働について

質 先の新聞に玄海原発3、4号機の再稼働に関して周辺自治体の意向調査結果が掲載してありました。原発30キロ圏内の28自治体の内、6割17自治体が再稼働の前提である地元同意の対象範囲を求めており、中でも佐賀、長崎の5自治体は再稼働に慎重とあります。また、伊万里市長も反対の意思を表明しています。市長としては、再稼働に賛成ですか、反対ですか、お尋ねします。

市長 これまで、安全対策については、国、電気事業者の責任において、不断の対策を講じられることを求めてきたところであります。また、万一の場合に備え、県と一緒に避難対策に取り組んでいるところであります。

再稼働に対しては、国、電気事業者による住民説明会の中で住民の十分な理解が得られたのか、そして避難対策が十分であるかを見きわめる必要があります。したがって現時点では、再稼働に対する容認、又は反対については表明する時期ではないと考えています。

一般質問



徳田
議員

○学校跡地の活用について

質 田代小、大崎小の学校跡地活用について、進捗はどのようになっていますか。

政策企画課長

いずれも体育館を社会体育施設として活用することは決定しておりますが、跡地全体の方向性を集約するには至っておりません。

質 鷹島小学校の跡地活用はどうなりますか。鷹島小学校の中には、鷹島の市民にとって大切なものがあるが、保存の考えはどうか。

政策企画課長

学校施設の整備方針については、検討会が開催されております。記念碑、石膏像や記念樹などは、学校や地元関係者と十分に協議を行い、保存、移設等適切に判断いたします。

質

養源小学校についてはどうなりますか。早く取り組みをお願いしたい。

政策企画課長

これまで3回の協議会を開催するとともにアンケート調査も実施しております。これらの意見を参考に引き続き協議を進めます。

質

福島小学校については、昨年から取り組みようをお願いしておりますがその後もなかなか進まず、昨年末にやっと検討協議の場が設けられました。その協議で方向性が決まっ

ておりますが、その後の進捗状況はどうなっていますか。

政策企画課長

協議の結果、保育所機能としての活用と、これに公民館機能を合わせた支所としての方向性が集約されています。これを踏まえて今後その具体化の取り組みを進めてまいります。

質

保育園の移転建設も計画されているようですが、補助はできるだけ高率でお願いしたい。また、経営安定のために土地の無償貸与はできませんか。

子育てこども課長

土地については、民間へ移譲した保育所との取り扱いを考慮すると、一定期間を無償貸与としてもその満了後は購入して頂くこととなります。

○和牛1000頭増頭について

質

増頭推進後の頭数や価格は、近隣市町を含めどのような状況でしたか。また、どう評価していますか。

農林課長

5年間の計画期間に651頭の増頭が図られ、166頭の純増となっています。近隣自治体の頭数が平均17パーセント減少している中、本市は10パーセント増となっています。価格も2倍程度の高値となり、一定の事業効果が得られたと思います。

質

近隣市町が減少している中、本市は健闘している。再度、増頭推進に取り組み考えはございませんか。

市長

畜産農家の経営安定と所得向上の観点からも今後も引き続き制度設計を行い推進していきたい。

一般質問



白石
議員

○港湾施設の安全対策について

質 車が海に転落し死亡する事故が相次いで報道されている。市内の海岸における転落防止柵や車どめ等の安全施設設置はどのような状況か。

水産課長

市管理の漁港については、昨年度より順次車どめの設置を行っております。県管理の漁港、港湾については県へ要望してまいります。

質 御厨棧橋に常夜灯等が設置できないか。

水産課長

県の管理施設であるため、棧橋の利用者等の意見も整理検討し、県に要望したいと考えます。

質

水難事故が毎年起きている。遭難者は、すばやく救助すれば命が助かります。万一に備えて水難特別救助隊の養成が必要ではないか。

市長

必要だと思います。必要な人員や資格、装備等について具体的な検討を進めてまいります。

○港の整備について

質 市民が、どこからでもお互いに海上からの往来や交流ができるように、港の整備をすべきだと思いますがいかがですか。

市長

海上のネットワークに関して、現在の航路の維持と併せて市民

交流のための新たな航路の開設と維持存続が課題だと思います。将来的展望も視野に入れた検討をしていかなければならないと考えます。

質

海外炭輸入の松浦港、LPG基地の福島港、アジバ水揚日本一の調川港、そして将来観光船の停泊が期待できる神崎港など市内の地方港湾を伊万里湾松浦港として重要港湾になるように、あらゆる手段を講じ県と国を動かす努力をされたらどうか。

市長

これまでも調川港を貿易港として指定が受けられないか、松浦港と統合できないかと取り組んだ経緯がありますが、国としては1自治体に2つの貿易港設置は困難と示しており、それぞれの機能拡充に向けて調査研究をしていきたいと考えます。

質 漁獲高低迷により漁船数、漁業経営者と従事者ともに減少している現状はどうか。

水産課長

登録漁船数は平成18年の894隻が26年には756隻に、漁業センサスによる漁業者数は15年の749名が25年には555名と減少しています。

質

松浦港開港当時からCIQ（税関、検疫、出入国管理）関連施設の設置要望がされてきましたが、その後の取り組みはどのようになっているか。

市長

CIQ機能設置には貨物の量や種類の確保が課題であり、港の整備と併せて検討する必要があります。

一般質問

山崎
議員

○水難事故対策について

質 本市では毎年多くの水難事故が起きている。港湾では車ごと転落という事故が後を絶たない。港湾及び浮栈橋に車輪どめの設置や浮栈橋への車両の進入禁止などの対策はとれませんか。

水産課長 浮き栈橋は、漁業者の作業やフェリーの乗降のために整備されているもので、釣り客とかを考慮して整備されていないというのが前提にあります。しかし現実的にはやはり使われている現状からすると、チェーンを張ったりするということも考えられますが、それをどう管理するかとかの問題もありますし、よく利用されます漁業者の方からは、邪魔になるので設置しないでほしいというような要望もございます。こういったことから、今のところは車どめの設置を順次行っているという状況です。

質 松浦市の消防には水難救助隊がありません。車ごと転落といった事故があれば、潜水士の資格を持った漁師の方へ要請している状況です。しかし特別な訓練もしていない民間

の方をお願いするのはおかしいと思います。

消防に水難救助隊を早急に設置して頂きたい。海との関わりが切っても切れない本市です。民間に頼らず消防にしっかりとした水難救助隊の設置を要請します。

消防長 水難事故の救助隊を今のところ編成しておりませんので、事案が発生した場合は、県警や海上保安庁が救助活動をされております。要請がありました救助隊を整備する場合には、装備、人員の配置等も考慮し、水難救助に対応できる職員の育成が必要です。すぐできるというわけではございませんので、やはりベテランの潜水をされている方々とまずは協力しながら体制を整えていき、消防本部の中にも隊員を育成し、救助に当たれるチーム、そういうのを検討していきたいと考えます。

その他漁業と農業の連携、松浦市民駅伝大会、市歌、松浦駅横に車が通れる踏切の新設、東京オリンピック選手村と応援者村の構想について質問しました。

一般質問

神田
議員

○鷹島神崎遺跡の今後の活用方針について

質 最終的には元寇船の引き揚げと思うが、行政として、一定のスパンを定め、元寇船の引き揚げ、保存処理、展示公開までの長期計画を示し、国や県へ要望していく必要があると思うが、市としての考えを伺いたい。

文化財課長 元寇船の引き揚げを最終目標に掲げ、長期計画の策定に取り組み、策定後には新たな要望活動を展開していきたいと考えます。

質 鷹島海底遺跡を全国、全世界へ発信していくためには、人材確保と育成が必要と思うが、市はどのように考えられているのか伺いたい。

市長 教育委員会と人員体制、職員の配置に関する協議を進めてまいります。

質 松浦市の財産である鷹島神崎遺跡の今後の活用策を早急に打ち出すべきと思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 元寇船の展示公開、さらには移動展示や体験航海といった施設を整備することによって、将来にわたって世界に誇れる地域にしなければならぬと思っています。

○原子力災害時の避難道路について

質 佐賀県道筒井万賀里川線については、県と合同で危険な箇所や見通しの悪いカーブ等を精査し、危険箇所の資料を作成されたか聞いていたが、県へいつ提出されたか伺いたい。

建設課長 資料は、長崎県へ平成27年1月31日に提出いたしております。

質 長崎県と佐賀県で実施している道路事業に関する調整会議に提出されたか聞いていたが、長崎県としてはどのように訴えられたのか伺いたい。

建設課長 会議は平成27年7月23日に開催され、市が提出した資料を用いて、地元から改良要望が上がっていることを説明されたか聞いております。

また、平成28年8月6日に開催された会議におきましても、引き続き議題として協議が行われたと聞いております。

質 原子力政策が国策である以上、同路線については、国が長崎県と佐賀県の仲介役として積極的に介入すべきと思う。この件について市長の見解を伺いたい。

市長 両県に対して働きかけをさらに強めていくことが最善の策だと思っています。できるだけ早い時期に県と県選出国会議員にお願いして、国の関係省庁に要請する行動をとっていききたいと思っています。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】平成28年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

原子力災害対策事業費3億8千555万7千円が計上されました。
原子力発電所事故の際に放射線被曝から身を守るための一時避難施設が飛島地区に設置されます。
施設の規模は300平方メートル程度で海拔9メートルのところに建設し、備蓄品として飲料水、食糧、日用品等が備えられます。

【議案】松浦市税条例等条例の一部
改正について

地方税法及び所得税法等の一部改正並びに固定資産税の納期を変更することに伴い市税関係条例の一部が改正されました。

主な改正内容は、延滞金の計算期間の見直し、特定一般用医薬品等購入費を支払った場合の医療控除の特例の適用、固定資産税の納期を4月から5月へ変更することなどです。

文教厚生委員会

【議案】平成28年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

今福小学校と志佐小学校のプール改修工事費として4千214万7千円が計上されました。いずれも昭和40年代に整備されたもので、経年劣化による裂傷などが発生し、改修を必要とするものです。

国の補正予算に伴う経済対策臨時福祉給付金9千150万円を含む関係予算が計上されました。所得要件に該当する対象者は6千100人程が見込まれ、平成29年2月から申請受付が始まります。

【議案】松浦市水中考古学研究センター
設置条例の制定等について

国史跡鷹島神崎遺跡及び鷹島海底遺跡の調査、研究、保存及び活用を図り、水中考古学に関する理解と文化の向上に資することを目的に水中考古学研究センターが設置されます。併せて鷹島歴史民俗資料館と鷹島埋蔵文化財センターを統合し、松浦

産業経済委員会

【議案】松浦市簡易水道条例及び松浦市飲料水供給施設の設置等関係条例の一部改正について

市内の簡易水道と飲料水供給施設の給水使用料について、格差是正を図るため料金が改定されます。

これにより福島町と鷹島町では基本料金を超える超過料金が安くなります。

委員会の審査の過程では、まだ旧松浦地域との料金に格差があるため早く統一にするようにとの意見もありましたが、理事者からは段階的に是正していくとの考えが示されました。

【議案】平成28年度松浦市一般会計
補正予算(関係分)

長崎県畜産クラスター構築事業費補助金約1億2千60万円が計上されました。

これは国の追加補正による増額で、畜産農家が実施する牛舎、堆肥舎の建設事業と家畜の導入に補助を行い、

市立埋蔵文化財センターを設置する条例改正案が可決されました。

飼育管理の省力化を進め、農家の労力の軽減と経営の安定化を図ろうとするものです。



委員会を 傍聴するには

各委員会での審議は一般に公開され、どなたでも傍聴することができます。

次の事項に留意の上おいでください。

- ・会議当日の開催時刻（通常は10時開会）の40分前から20分前の間に申請を議会事務局で受け付けます。
- ・各委員会の定員は6人です。
- ・希望者が定員を超えたときは、受付終了後に抽選により傍聴者を決定いたします。

常任委員会の行政調査

総務委員会

平成28年10月5日から7日までの3日間、奈良県葛城市の人口減少対策についてと静岡県焼津市のふるさと納税について先進地調査を行いました。

【葛城市】

葛城市は、奈良県の北西部に位置し、大阪市内からは電車や自動車で約30から40分、関西国際空港からは60分と交通の利便性が高い地域です。近年、同県内で人口が増加している3市のうちの1市で人口約3万7千人を有します。

市民の生活環境に関しては、コミュニティバスが充実しており、市民から要望の多い病院や買い物などの経路が網羅され、上下水道料金も県下で一番安く、ごみ袋は無料となっています。行政サービスもコンビニエンスストアで証明書が発行でき、市内中心部から離れた地域に暮らす人たちのところに向いて証明書を発行する市民サービスカーや一部の買い物困難者に対しての買い物サー

ビスカーが運行しています。

市内には高校、大学、市民病院などがないにもかかわらず人口は増加しており、移住された方の意見として、交通の便がよい、生活するのに安全安心で便利など、生活コストもかからない、などの意見がありました。また、気候が温暖で地震などの災害がなく、都会と比較して土地が安いなど移住者の希望に当てはまるところが多いとのことでした。

人口増加の要因として、大阪都市圏との交通の便の良さが大きく影響しているとは思われるものの、行き届いたコミュニティバス事業と行政サービスの内容は、現在松浦市が抱える交通弱者に対する支援策として参考になるものであり、今後研究する必要があると感じました。

【焼津市】

焼津市は、平成27年度のふるさと納税寄附金額が全国第2位となっています。同市によれば、焼津市の産業や文化について知ってもらおうことが市内の産業振興やシティーセールスになるとの考えで取り組み、集まった寄附金は産業振興、子育て支援、交流人口の増加、健康寿命の延伸事

業に活用していく計画となっています。

業務の運営は、市の直営で行っており、寄附の返礼品は額にに応じて11段階設定されています。1万円以上2万円未満であれば5千円以上の商品を送っており、その割合は約40パーセントと設定されています。寄附額としては1万円から3万円が最も多く、全体の52パーセントが関東からの寄附で、リピーターが多く昨年度寄附の3割ほどが2回目以上の寄附者だそうです。

説明によれば寄附額が急速に伸びた要因として、職員が丁寧かつ迅速な対応をして喜ばれたところだと分析されていました。漁業が盛んな地域ですが鮮魚の取り扱いはなく、ポイント制も導入していません。

ポイント制導入の是非については、平戸市と佐世保市が導入し昨年度全国トップテン入りを果たしたことから、ポイント制導入こそが寄附額の増加に直結するとみられ、本市議会でもこれまで話題になりました。しかし全国2位の焼津市でも導入していないことから、取り組み次第では十分に寄附額は伸ばせるのではないかと感じました。

文教厚生委員会

平成28年10月19日から21日までの

3日間、奈良県宇陀市の廃校跡地活用についてと京都府綾部市の小中一貫教育について先進地調査を行いました。

【宇陀市】

宇陀市には、学校の統廃合により廃校となった昭和10年築の旧宇太小学校木造校舎を、NPO法人宇陀力エデの郷づくりが市から平成24年に譲り受け、3千本の力エデに彩られた公園や家庭科室力フェなどの施設「奈良力エデの郷ひらら」を25年にオープンしています。

この校舎は、廃校後には取り壊す計画でしたが、地元住民の活動によりそのまま残して活用する方向へ転換した経緯がありました。80年間の卒業生の想いを背景に、今では年間の来園者も2万人を超え、地域の活性化と活力の源になっているとのことでした。同施設を訪問して、まず印象に残ったのは築80年を過ぎた木造校舎でした。昭和初期に建設されたこの校舎には、懐かしさが溢れ、豊かな自然の中で癒しの空間として利用されています。歴史あるものに目を向け活用することも重要であると感じました。

宇陀市は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標に地域資源を活かし育てるまちづくりを掲げ、そのひとつに力エデ植樹推進事業として「奈良力エデの郷ひらら」をパッ

クアップする取り組みを行っていません。その施策には、宇陀市をどうにかしたいという住民の思いが大きく影響しています。行政がその気持ちに応えたことで、地域の活性化につながり、子どもたちの地域愛を育むなど更なる効果が表れていました。

地域で子どもたちを育てる意義や、住民の地域を想う気持ちを行政が十分に理解して支援することは、今後の廃校の利活用の際にも発想の多様性を妨げず、より良い方向性を得られる取り組みだといえます。本市にとっても大変参考になる事例でした。

【綾部市】

綾部市は、教育の基本構想に「ふるさと『あやべ』を愛し、生きる力を身に付けた子どもの育成」を掲げ、平成27年度から市内全域で小中一貫教育を実施しています。

子どもたちが、綾部で育つことに誇りと自信を持ち、将来に夢をもって生きていけるように、家庭、地域社会、関係諸機関との連携のもとに特色ある教育が推進されています。

上林小中一貫校は施設一体型の小規模校として平成27年度に開校し、全校児童生徒45名、教職員29名で2年目をむかえます。ふるさと教育、キャリア教育、国際理解教育など小中一貫校ならではの地域に根差した魅力ある教育が実践されています。



【上林校 英語掲示板】

同市は一時期、児童の減少による学校の統廃合を進めましたが、学校存続を求める地域住民の動きは大きくなり、このことが市の学校統廃合の行政方針を替えさせました。行政が限界集落を切り捨ててではなく、地域を守り地域の活性化を住民とともに考えるようになったことは、大変意義あることだと思います。

子どもたちが確かな学力と豊かな心を育み、保護者が子どもを学ばせたいと思える学校をつくり、独自の特色ある教育を推進することができれば、子どもたちの学力向上、地域の活力向上ひいては人口流入など波及効果は大きいと思われます。

これからは、小中一貫教育に取り組むべきであると感じました。

特別委員会の動き

企業対策特別委員会

9月8日に委員会を開催し、理事者から坊ノ上用地への進出企業について説明を受けました。既に同用地内に冷凍庫を設置している智洋水産株式会社、用地面積約3千252平方メートルを売却価格約2千536万円で分譲予定であるとの報告でした。同社は、伊万里市に本社を置き、アジ、サバ、イカなどの凍結加工を行う冷凍水産物製造業で、売却地に冷凍工場の建設を計画しており、平成29年4月から操業を開始し、従業員10名が新規雇用される予定とのことでした。

西九州自動車道整備促進特別委員会

伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会の活動計画に基づき、11月22日に国土交通省九州地方整備局長に対し、また、同月24日、25日の両日に国土交通省、財務省及び自民党本部並び

に長崎・佐賀両県選出国会議員に対し、唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事業促進と早期完成及び道路整備予算の安定的な財源確保について要望を行いました。

特別委員会の新設

市議会議員定数等特別委員会

平成28年第4回市議会定例会最終日に市議会議員定数等特別委員会を設置いたしました。

この委員会は、議員の定数及び委員会構成など今後の市議会の運営に関する件を所管し協議検討いたします。

委員会は、議長を除く全議員で構成し、委員長及び副委員長は次のとおり決定いたしました。

委員長 白石光一郎
副委員長 山口芳正

平成28年12月21日設置

議案等の審議結果

条 例	松浦市税条例等の一部改正について	可決(全員)
	松浦市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(全員)
	松浦市福島町観光宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(全員)
	松浦市簡易水道条例の一部改正について	可決(多数)
	松浦市飲料水供給施設の設置等に関する条例の一部改正について	可決(多数)
	松浦市立水中考古学研究センター設置条例の制定について	可決(全員)
	松浦市立鷹島埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例の全部改正について	可決(全員)
	松浦市立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決(全員)
	松浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び松浦市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
	松浦市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	可決(多数)
	松浦市市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	可決(多数)
	松浦市職員の給与に関する条例及び松浦市水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決(全員)
予 算	平成28年度松浦市一般会計補正予算(第6号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(多数)
	平成28年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市一般会計補正予算(第7号)	可決(多数)
	平成28年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算(第4号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市工業用水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)
	平成28年度松浦市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決(全員)
その他	損害賠償額の決定について	可決(全員)
	損害賠償額の決定について	可決(全員)
	長崎県市町村総合事務組合規約の変更について	可決(全員)
認 定	平成27年度松浦市一般会計の決算認定について	認 定
	平成27年度各特別会計の決算認定について 12件	認 定
同意案	松浦市公平委員会委員の選任について (星鹿町 太田 富穂氏)	了 承
	松浦市教育委員会委員の任命について (志佐町 平原 章宏氏)	了 承
議員提出議案	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出について	可決(多数)

編集後記

1月4日の成人式に来賓として出席させていただきました。

文化会館に224人の新成人が集まり、大人への門出を祝いました。

式後半の記念品贈与では袴姿の元気な新成人が登壇し、ステージ場で記念品目録を大きく掲げたあと、去り際に照れながら小さい声で

「ありがとうございます」ときちんと会釈をされていました。

とても印象的でほのぼのとした情景でした。

新成人の皆さんおめでとうございます。

(誠)

広報特別委員会

委員長 山口 芳正

副委員長 武辺 鈴枝

委員 山崎 誠也

委員 川下 高広

委員 神田 稔

委員 宮本 啓史